

新着図書からおすすめの5冊



毎週火曜日は、新着図書の配架日です。本日10月4日（火曜日）の新着図書の中からおすすめの本を紹介します。インターネット予約・貸出は、10月11日（火曜日）からです。

『家具でつくる本の空間』

藤江和子アトリエ／著、彰国社／刊、請求記号：012.9/F,56

内容：家具が生み出す、本と人のしあわせなかたち。藤江和子の発想とデザインプロセスを5つの物語と150の図面で読み解く。「みんなの森ぎふメディアコスモス」「真壁伝承館」「多摩美術大学図書館」など全33作品を収録。

『朝鮮の対日外交戦略』

李 穂枝／著、法政大学出版局／刊、請求記号：319.2/I,11

内容：日本と清のはざままで、朝鮮は激動の時代をどう生きたか。1876年から1893年まで、朝鮮が清との宗属(宗主国と属邦)関係をいかに活用しつつ対日外交を展開したかを分析し、朝鮮の主権的外交の様相を明らかにする。

著者紹介：1974年韓国生まれ。博士(学術)。東京大学大学院総合文化研究科学術研究員、昭和女子大学、東海大学非常勤講師。

『子どもの疑問を大切に』

大前 孝夫／著、丸善プラネット／刊、請求記号：370/O,61

内容：「子どもの疑問」を大切にすることによって、子どもたちに「考える力」「探究心」「学習意欲」等を培って欲しいと願う著者が、なぜ疑問が大切なのか、子どもの疑問を支える要件などについて解説する。

著者紹介：1952年兵庫県生まれ。2008年、兵庫県加東市小学校教員を退職。著書に「拝啓植村直己様」がある。

『秘められた和食史』

カタジーナ・チフィエルトカ／著、新泉社／刊、請求記号：383.8/C,98

内容：ユネスコの世界無形文化遺産に登録され、「伝統的な食文化」として注目を浴びる和食。しかし、和食の由来と変遷を誤解していないだろうか。日欧の気鋭の食文化研究者がていねいに史実を探り、和食の近代史を解き明かす。

著者紹介：ポーランド出身。オランダのライデン大学教授(近代日本研究専攻)。

『なぜ蚊は人を襲うのか』

嘉糠 洋陸／著、岩波書店／刊、請求記号：486.9/ Ka,59

内容：アフリカの大地で巨大蚊柱と格闘し、アマゾンでは牛に群がる蚊を追う。かたや東京のど真ん中の研究室で万単位の蚊を飼育-。そんな著者が、蚊の知られざる奇妙な生態の数々を語る。

著者紹介：1973年山梨県生まれ。大阪大学大学院医学系研究科博士課程修了。博士(医学)。東京慈恵会医科大学熱帯医学講座教授、同大学衛生動物学研究センター長。専門は衛生動物学、寄生虫学。

佐賀県立図書館 〒840-0041 佐賀県佐賀市城内二丁目1-41

Tel 0952-24-2900 Fax 0952-25-7049 E-mail saga-kentosyo@pref.saga.lg.jp